

テーマ

第1回 その人らしい生活を踏まえた 高齢糖尿病患者のインスリン療法の療養支援

2018年

2 / 24



9:20～16:00
(9時開場)



-病院と地域の協働-

船橋市立医療センター D館 3階 講堂

〒273-8588 千葉県船橋市金杉1丁目21番1号 電話:047(438)3321 (代表)

<http://www.mmc.funabashi.chiba.jp>

- **講演1**「高齢糖尿病患者のインスリン治療」
横手 幸太郎 先生(千葉大学大学院医学研究院細胞治療内科教授)
- **講演2**「高齢者の特徴とその人らしさを支援するケア」
和田 美奈子 先生(北里研究所病院 老人看護専門看護師)
- **ランチオンセミナー**「高齢糖尿病患者への支援の実態を探る
～事前アンケートの結果から～」
曾根 晶子 先生(船橋市立医療センター 慢性疾患看護専門看護師)
- **講演3**「その人らしい生活を踏まえた高齢糖尿病患者の
インスリン療法の療養支援の実際」
島田 珠美 先生(川崎大師訪問看護ステーション 特定看護師)
佐々木 花奈 先生(済生会横浜市東部病院 退院調整看護師)
大倉 瑞代 先生(千葉大学病院 糖尿病看護認定看護師)
- **ディスカッション**「これからもずっと高齢糖尿病患者のインスリン療法を支援するために…」

◆ **申込期間** 会員: 平成29年12月8日(金)～平成30年1月31日(水)
非会員: 平成29年12月15日(金)～平成30年1月31日(水)

◆ **申込方法** 日本糖尿病教育・看護学会ホームページでオンライン受付です
<http://jaden1996.com/>

◆ **参加費** JADEN会員6000円 JADEN非会員8000円

◆ **定員** 70名 先着順

★詳細はホームページをご確認ください



第1回 その人らしい生活を踏まえた 高齢糖尿病患者のインスリン療法の療養支援 ～病院と地域の協働～

【研修のねらい】

現在、高齢化・糖尿病人口の増加と共に、高齢糖尿病患者が増加しています。また近年は、インスリンを含む自己注射薬の種類が増加は著しく、提供できる薬物療法の選択肢の幅が広がっており、高齢糖尿病患者でもインスリン療法を実践している患者が増えています。その一方で、困難事例も多く、病院・地域の医療機関・施設等のそれぞれの医療関係者が十分に力を注いでも、その人らしい医療の提供・支援を充足させるのはなかなか難しい現状であることは、みなさんも実感しているのではないのでしょうか。

在院日数短縮などに伴いケアの場が、病院だけでなく在宅にも移行しつつあり、病院だけではなく地域一丸となって継続して支援すること、協働が求められています。

そこで、今回の研修では、

- ① 高齢者の特徴について理解を深め、高齢糖尿病患者がその人らしく生活しながら、インスリン療法を継続していくための支援について学ぶ
 - ② その人らしい療養生活を送れるように、病院と地域との協働のあり方を考える
- 上記2点を中心に研修会を企画いたしました。

明日からの看護実践、地域医療連携の糧になれるとおもいます。ぜひ、ご参加ください。

【会場へのアクセス】

- 電車の利用の場合
最寄駅は、JR船橋駅または京成船橋駅
- 最寄駅から会場までバス利用の場合
船橋駅北口バスターミナル5、6、7番より
医療センター経由に乗車「医療センター」下車
(所要時間20分程度)
金杉台団地、鎌ヶ谷大仏駅、三咲駅、御滝不動発の
医療センター経由に乗車「医療センター」下車
(所要時間20分程度)
- 最寄駅から会場までのタクシー利用の場合
所要時間15分程度
- 当日の出入り口
病院正面玄関は、休日のため施錠されています。
救急外来入り口よりお入り下さい



【お問い合わせ先】

日本糖尿病教育・看護学会事務局 研修会受付窓口
〒170-0002

東京都豊島区巣鴨1-24-1第2ユニオンビル4F (株)ガリレオ 学会業務情報化センター内

FAX: 03-5981-9852 Email: g015jaden-kenshu@ml.gakkai.ne.jp

※ 12/29～1/4までは年末年始休業のため対応ができません。